

冬の省エネアイデア



他にも、繰り返し使えるものや、省エネ製品を選ぶなど、グリーン購入も省エネにつながります。
身近にある小さなことから省エネ・節電に取り組み、環境負荷の軽減に努めましょう。

- 暖房は20℃を目安に設定する
- 電気カーペットの設定温度を低めに設定する
- 一つの部屋に集まって、ウォームシェアをする
- 厚手のカーテンで、暖を逃さないようにする

冬はエネルギー消費量が特に増加すると言われています。地球温暖化を防ぐために、省エネルギー・節電に取り組みましょう。



可燃ごみ搬出量
現在、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じてごみ処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。



測定月	収集量
平成30年12月分	1,133t
令和元年12月分	1,229t (前年比96t増)

水草たい肥を無料配布します!

▼配布日 2月29日 10時~14時
▼場所 今津町南沼市有地
☎(公財) 淡海環境保全財団
☎077(569)5301

※小雨決行ですが荒天等により中止する場合があります。

タブレット端末活用のイイところ!!

タブレット端末の効果的な活用方法の1つとして、離れた学校間の遠隔授業の研究にも取り組み始めました。

- 写真を撮りためることができて、理科など長い期間にわたっての観察の記録がとりやすい。
- 友達の考えをモニターやタブレットで一斉に見ることができるのがよい。
- 考えを比較しやすく、ペアやグループ学習での話し合いが活性化。
- 児童生徒が作成した図形や表、絵などを、全体に効率的に提示することができる。



ICTを活用した授業づくりを進めています。令和2年度から本格実施となる新学習指導要領では、情報化社会の進展を見据え、児童生徒がICTを活用する授業づくりが求められています。市内小中学校では、本年度10月からタブレット端末を取り入れた授業を行い、学びを深めています。授業では、児童生徒がタブレット端末で撮りためた写真や動画、インターネットで調べた情報などをもとにして、自分の考えを整理したり、発信したりしています。



生活科の授業の様子

今後も、ICTの活用を通して、情報活用能力を育成するとともに、児童生徒の主体性や表現力などを引き出し、学びを深める授業を進めていきます。

ICTを活用した授業づくりを進めています

教育委員会広報

各学校教育課

☎(25)8562

安全安心

交通事故発生状況

☎高島警察署 ☎(22)0110

(令和元年12月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	103件	+9件
死者数	5人	+4人
傷者数	129人	+5人

発生場所	件数
マキノ	12件
今津	22件
朽木	6件
安曇川	27件
高島	16件
新旭	20件

※概数



火災・救急・救助件数

☎消防総務課 ☎(22)5401

(令和元年12月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	0件	11件
車両	0件	0件
林野	0件	1件
その他	0件	8件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	12件	185件
一般負傷	37件	417件
急病	141件	1,782件
その他	35件	389件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	0件	21件
水難事故	0件	1件
その他	0件	11件

環境放射線測定結果

☎原子力防災対策室 ☎(25)8133

12月平均値(平日測定) 前月平均値

マキノ(マキノ支所前駐車場)	0.066 μSv/h	0.065 μSv/h
今津(今津支所車庫付近)	0.038 μSv/h	0.037 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場)	0.064 μSv/h	0.061 μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場)	0.049 μSv/h	0.052 μSv/h
高島(高島支所東側駐車場)	0.054 μSv/h	0.052 μSv/h
新旭(高島市役所本館北側玄関前)	0.055 μSv/h	0.056 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※日本での自然放射線による時間線量の通常値はおおむね0.2 μSv/h以下です

高島市の活性化を後押しする『びわ湖高島えんむすび事業』
高島市のふるさと納税「びわ湖高島えんむすび」は、市にとって貴重な財源であるとともに、市内の特産品を全国にお届けできる絶好の機会と捉え、本年度の寄付金は「5億円達成」を目標に、市の魅力をPRするなどの取り組みをしてきました。
近年、一部の自治体による返礼品競争の過熱から、ふるさと納税制度をゆがめる事態となっていました。市ではそうした状況を想定し、既に平成30年1月から返礼品を見直し、すべて3割以内で改めるとともに、市内産または市内加工品(市内事業者)に限っての運用を行っていました。
このような中、昨年4月1日から12月31日までの間、全国各地からお寄せいただきましたふるさと納税寄付額が、本年度の目標額を大きく超える約5億5千万円に達し、市といたしましては、12月末時点で過去最高のご寄付をいただきました。

また、メタセコイア並木をはじめとした観光振興事業、たかしま野菜や地域材の生産流通拡大を目指す産業振興事業のほか、がん検診、人工透析患者の通院費助成、在宅介護用品の助成事業等、高島に暮らす人の健康と医療を支える事業などにも活用させていただいています。
今後も、高島市に住んでいなくても高島市を応援いただける「関係人口」の開拓に取り組んでいきます。

福井 正明

市長雑記

